九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

博学連携事業説明資料

ホームページ

企画展「きゅうおにとタイムトラベル」

第一展示室

屋外展示「石人等」

新収蔵庫

空撮　九州歴史資料館

新収蔵庫の甕棺の展示

発掘された土器の復元作業

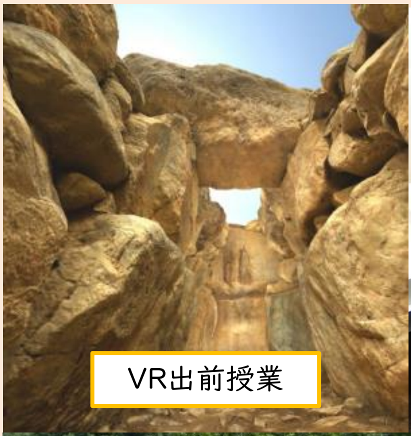
床下の遺構展示

第２展示室（大宰府政庁中門復元模型）

九州歴史資料館　－学校活用のご案内－

組み合わせて学ぶ 博学連携

「たからもの」に触れる。その経験が「たからもの」になる。


VR出前授業

360°WEB観覧

出前授業

古代体験

来館学習

オンライン遠隔授業

バックヤードツアー
ミュージアムトーク

オンライン社会科見学

実物の土器に触れる体験

九州歴史資料館のホームページで博学連携事業の詳細をご案内しております。

当館の在籍教員（指導主事）が学校側のニーズに応じた学習活動をサポートします

〇学習の主眼を明確化したうえで、効果的な学習活動づくりをお手伝いします。
〇教科や総合的な学習の時間の中身を深める出前授業やオンライン遠隔等をご提案します。
※当館から職員を派遣する場合でも、旅費や謝礼等の負担は一切ございません。

【お問い合わせ先】
九州歴史資料館　文化財企画推進室
教育普及班
〒838-0106　小郡市三沢5208-3
TEL　0942-75-9575（代　表）
　　　0942-75-9501（直　通）
FAX　0942-75-7834

博学連携事業詳細のご案内ページ

小学校の先生方へ

小学校による活用のご案内

第４学年　社会科

単元「わたしたちの県のまちづくり」

昔の太宰府市はどのような所？ → **文化財をあずかり守り伝える仕事**

館内見学や資料「古代日本の『西の都』～東アジアとの交流拠点～」の活用を通して、当時の太宰府市が歴史的にどのような特色をもった場所であるのかを捉えることができます。（オンライン授業可）

太宰府にある様々な文化財を守り伝える仕事について、学芸員が話をすることができます。（オンライン授業可）

こんなふうにして太宰府の歴史をみんなに伝えているんだね

第６学年　社会科

歴史学習の入口

企画展「きゅうおにとタイムトラベル」

３月中旬～７月中旬

狩猟・採集や農耕の生活の様子をパネルで比較して、縄文・弥生時代の共通点や相違点を探ることができます。

奈良時代の大宰府の様子を見ることを通して、古墳時代を経て、国がまとまり天皇を中心とした政治が都だけでなく全国に及んだことに気付くこともできます。

※ホームページ九歴動画チャンネルから「きゅうおにとタイムトラベル」（約7分）が視聴できますのでご活用ください。

古墳時代になると、日本がひとつの国としてまとまっていったんだね。

都で決められたことがわたしたちのくらす福岡でも確かに行われていたんだな。

旧石器時代～近現代

常設展示「歴史（とき）の宝石箱」

（特別展会期中を除く）

資料を通して、時代の流れや変化、時代ごとの特色や海外との交流を学ぶことができます。

道具や集落（むら）の規模や仕組みが時代ごとに大きく変わってきたんだなぁ。

大陸からは物だけではなくて技術や文化も伝わっていた。わたしたちのくらす福岡が玄関口になっていたんだね。

多くの人たちの苦労や工夫、努力の上に今のわたしたちの生活があるんだなぁ。

自分たちの住んでいる福岡県の歴史がよく分かったよ。これからもっとくわしく調べてみたいな。

さらに学習を深める（学芸員とのオンライン授業）

各時代を専門とする学芸員とオンラインでつなぎ、もっとくわしく知りたいことや疑問に思っていることなどを「対話」で質問。ICTを活用することにより、子どもたちが主体的に学習問題を追究することができ、学習活動の質的な向上にも期待できます。

生活科・社会科・総合的な学習の時間

〇公共施設探検（まち探検）
〇バックヤードツアー
〇古代体験
- 出土品ハンズオン体験
- 昔遊び体験（投壺、ぎっちょうなど）
- 竪穴住居づくり体験

〇VRで古墳探索体験（出前授業可）
※体験活動は体験できる人数に限りがあります。（３０人程度）

資料活用として

ホームページでは、福岡県内の主な史跡や世界遺産、無形民俗文化財などを紹介しています。これを活用することで、県内の主な文化財や年中行事の特色をとらえることができます。

研修の場として

先生方の研修の場として、研修室や会議室をご利用いただけます。使用料の減免制度もございます。

このような学習ができます。年間の学習計画に効果的に位置づけ、活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

中学校の先生方へ

中学校による活用のご案内

様々な学びの場でご活用ください（総合的な学習の時間・各教科・学校行事）

① 学芸員や在籍教員による出前授業（VRを活用した授業や職業講話も可能です）
② オンライン遠隔授業
③ さまざまな種類の業務が体験できる職場体験
④ 研修や会議の実施

自然教室の往路や復路に当館を組み込んでいただき、講座や展示見学を実施することもできます。

①出前授業

来館学習が難しい中学校に学芸員や在籍教員がお伺いして講話や授業を行うことができます。
修学旅行の事前学習として「仏像の見方」についての授業や「VRを活用した出前授業」は好評をいただいています。学年での実施の外に、総合的な学習の時間等、少人数での実施も可能です。

②オンライン遠隔授業

先生方のニーズに応じて、様々な内容の授業をご提供できます。写真は中学校で行った「オンライン社会科見学」の様子です。展示室と教室を中継で結び、会場全体を見てもらったあと、それぞれの端末から展示品を鑑賞してもらいました。
GIGAスクールだからこそ、博物館とオンラインでつないで遠隔授業をしませんか。

③職場体験

２日の日程で、さまざまな種類の業務体験を提供します。
・学芸員体験
・文化財整理作業（復元作業等）
・発掘技師体験
・保存科学実習
・普及業務体験

また総合的な学習の時間における「職業講話」の時間に職員を派遣することも可能です。

④研修・会議

研修室を先生方の研修の場所として活用することも可能です。校内研修や教科の研究会など、積極的にご活用ください。音響設備、スクリーン、プロジェクターなどの設備も整っています。
また博物館の体験会（VR体験やミュージアムトーク、バックヤードツアーを行うことも可能です）※使用料の減免制度があります。

活用例 オンライン遠隔授業「それ専門家に聞いてみよう」

探求学習等において、レポート作成作業と平行して実施をすることも可能です。常時オンラインで接続した状態でつながることで、まるで教室に専門家がいるかのような状態で質問をすることができます。双方向での質問等を通して学習の自己調整や深化を期待することができます。
※写真は中学校I年生の社会科の探求学習において生徒さんの質問に職員が答える様子です。

高等学校の先生方へ

高等学校による活用のご案内

高等学校における当館の活用例

①インターンシップ（福岡県教育庁・学校独自のカリキュラム）
②学科や部活動単位での鑑賞会や見学会（芸術科や郷土史研究会等）
③出前授業・オンライン遠隔授業（VRを活用した出前授業も可能です）
④フィールドワークにおける事前学習や解説（オンラインでも対応できます）
⑤学芸員や発掘技師による進路講演会における職業講話（オンラインでも対応できます）
⑥学芸員による生徒さんの研究活動の支援
⑦研修・会議（校内研修・教科の研究会）

当館の職員の高い専門性を
ぜひ授業づくりやキャリア教育に
ご活用ください。

③博物館職員による「出前授業」について

講師派遣の費用（謝礼、交通費等）は必要ありません。学校側のご要望に可能な限りお応えします。職員が直接お話をすることで授業の主眼の達成のお手伝いをさせていただきます。それに加えてキャリア教育としての価値付けも期待できます。歴史総合における探求活動等にもぜひご活用ください。

③教室と博物館をオンラインで結ぶ「遠隔授業」について

当館の展示室からリアルタイムでご紹介できます。また学芸員による解説やオンラインでのメリットを生かした双方向での質疑応答は、生徒の学ぶ意欲を喚起し、学習の個性化を図ることができます。また歴史の授業だけにとどまらず、仏像を使った現代社会や美術の授業、保存科学の手法や機器の解説を通した科学や物理の授業での活用も可能です。

⑥学芸員による生徒さんの研究活動の支援について

歴史部や郷土史研究会等の活動を当館の学芸員がサポートします。職員により専門の研究分野が異なりますのでまずは一度ご相談ください。専門家の助言は研究活動の意欲の向上と深化を期待することができます。また研究の成果を当館で展示することも可能性です。（要相談、紙資料のみ）

活用例 STEAM教育におけるVR出前授業の活用

学習課題 「VR技術は考古学にどんな変化をもたらすのか？」

AIやIoTなどの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日、文系・理系といった枠にとらわれず、各教科等の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成が求められています。
※中央教育審議会答申（令和3年1月26日）（抜粋）

まずはVRで古墳の石室の内部の見学や発掘の体験を行い、その後グループでの意見交換や学芸員による講話を行います。VRでのリアルな体験は、教科学習の範囲を超えて、生徒自身が「問い」をもったり、探求心による学びの主体性の向上等を期待することができます。

この授業ではVR技術により、人、場所、時間がボーダーレスになり、専門家だけではなく、多くの人が研究に携わることができる可能性を探求することができます。

歴史を体感するツアーに
皆さんをご案内します
九州歴史資料館「来館学習」

学びのコスパ最強！おすすめポイント

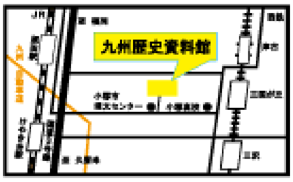
○**無料**でご案内できます。(学校様には観覧料の減免あり)駐車場も無料です。
○当館の**在籍教員(指導主事)が「ツアー形式」**で館内をご案内します。
○学習の最初にオリエンテーションを行い、本時の学習のめあてや見学する視点を提示しますので、効果的に来館学習を行うことが期待できます。
○博物館の**「バックヤードツアー」**が実施できます。(土器の復元作業の見学や文化財を保管する収蔵庫の見学を行います)
○ご希望があれば**体験活動**(VR体験や竪穴住居づくり)を行うことも可能です
○**標準時間は90分**です。(ご要望に応じて対応させていただきます。)
○昼食場所をご準備することもできます(研修室に空きがある日に限ります)

「たからもの」を見る。その経験が「たからもの」になる。

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106
福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL：0942-75-9575
FAX：0942-75-7834

アクセス
(西鉄電車) 天神大牟田線
三国が丘駅より約700m
(JR) 鹿児島本線原田駅より
タクシーで約10分



九州歴史資料館　来館学習（案）

〇〇市立〇〇小学校　様

１　日　時

〇月〇日（〇）　１０：００ ～ １１：３０

６年生　生徒１００名（３学級）　引率〇名　バス（　　）台

２　主　眼

　職員の説明や博物館見学を通して、文化財に触れる感動を味あわせ、文化財の保存・継承の意味を考えたり、郷土の歴史に関心を高めたりすることができるようにする。

３　当日の流れ

		１組	２組	３組
10：00 ～ 10：15	15 分	到着→**研修室**→（トイレ）→あいさつ→ オリエンテーション ※学級ごとに着席をお願いします。		到着→**玄関ホール**→（トイレ）→あいさつ→オリエンテーション ※整列をお願いします。
10：15 ～ 10：35	20 分	**［第２・第４展示室］** **企画展説明・見学** 「きゅうおにとタイムトラベル」 **遺構展示見学**	**［バックヤード］** **文化財整理室・新収蔵庫** 〈復元作業･収蔵庫見学〉	**［第１展示室］** **常設展説明・見学** 「歴史（とき）の宝石箱」
10：35～ 10：55	20 分	**［バックヤード］** **文化財整理室・新収蔵庫** 〈復元作業･収蔵庫見学〉	**［第１展示室］** **常設展説明・見学** 「歴史（とき）の宝石箱」	**［第２・第４展示室］** **企画展説明・見学** 「きゅうおにとタイムトラベル」 **遺構展示見学**
10：55～ 11：15	20 分	**［第１展示室］** **常設展説明・見学** 「歴史（とき）の宝石箱」	**［第２・第４展示室］** **企画展説明・見学** 「きゅうおにとタイムトラベル」 **遺構展示見学**	**［バックヤード］** **文化財整理室・新収蔵庫** 〈復元作業･収蔵庫見学〉
11：15～ 11：30	15 分	**研修室**→学習の振り返り→あいさつ ※最初の状態で整列をお願いします。		**玄関ホール**→学習の振り返り→あいさつ ※最初の状態で整列をお願いします。

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

九州歴史資料館での博物館学習にあたって

１　館内の展示や活動について

（１）第１展示室：常設展「歴史（とき）の宝石箱」

古代から近現代までの福岡の歴史を、歴史（とき）の流れに沿ってご覧いただける展示です。

（２）第２展示室：企画展「きゅうおにとタイムトラベルー大昔のくらしと国づくりー」

小学校６年生の社会科（歴史学習）の学習内容に合わせた展示です。当館のマスコットキャラクター「きゅうおに」の案内で、縄文・弥生・古墳・奈良時代の福岡へとタイムトラベルするという設定です。福岡県内の遺跡から実際に出土した資料を通してそれぞれの時代の特色を探ります。

（３）第４展示室：遺構展示

遺構の実際の様子を真上から見ることができる展示です。旧石器時代から 11 世紀後半までの遺物を、出土した当時のまま地面ごと切り取って、足元に展示しています。

（４）バックヤード・新収蔵庫

普段は見ることができない博物館の裏側を見学し、本館の埋蔵文化財センター（発掘調査・保存・整理）としての役割を知ることができます。発掘したものを保存する収蔵庫では、福岡県で発掘された「甕棺」を中心に説明をします。

２　九歴から先生方へのお願い・お知らせ

（１）クリップボード

見学に際して見つけたことや分かったことを書き留めるワークシートを配布します。展示を見学しながら書き込みができるように、クリップボード等準備されると便利です。

（２）筆記用具

展示室内では、展示物を保護するために、ボールペンなどのインクを用いる筆記具の使用をご遠慮いただいています。鉛筆を用いるようご指導願います。また、消しゴムの使用は、館内ではご遠慮ください。

（３）写真撮影

展示資料の写真撮影はご遠慮いただいていますが、学習活動の様子を撮影していただくのはかまいません。ただし、展示資料の保護のため、フラッシュのご使用はご遠慮ください。同行される業者の方へもお伝えください。

（４）観覧料

児童さんについては観覧料無料です。先生方に関しては、当館のＨＰより「観覧料免除申請書」をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、当日お持ちいただくことで、全額免除になります。(同行される代理店等の業者様は減免の対象にはなりません) ※校印は不要です。またメールでの送信でも構いません。

※ＨＰのトップページ上部にある「利用案内」→「開館時間・観覧料」から入っていただき、**「九州歴史資料館観覧料免除申請書」**（ＰＤＦ）をダウンロードしてください。

（５）公共施設利用についての事前指導

館内は大変声が響きます。また、一般のお客様もいらっしゃいます。公共施設利用のマナーについて、事前のご指導をお願いいたします。また、限られた時間ですので、職員の指示や説明をよく聞き、節度ある行動ができるようあわせてご指導いただけると幸いです。

（６）バス下車、駐車、乗車について

到着されましたら、入口正面で停車の上、下車し、そのまま入館してください。バス駐車場は、館の裏手にございますので、学習中はそちらで待機してもらい、退館のタイミングに合わせて正面にバスを回していただくよう、あらかじめ運転手さんにお伝えください。

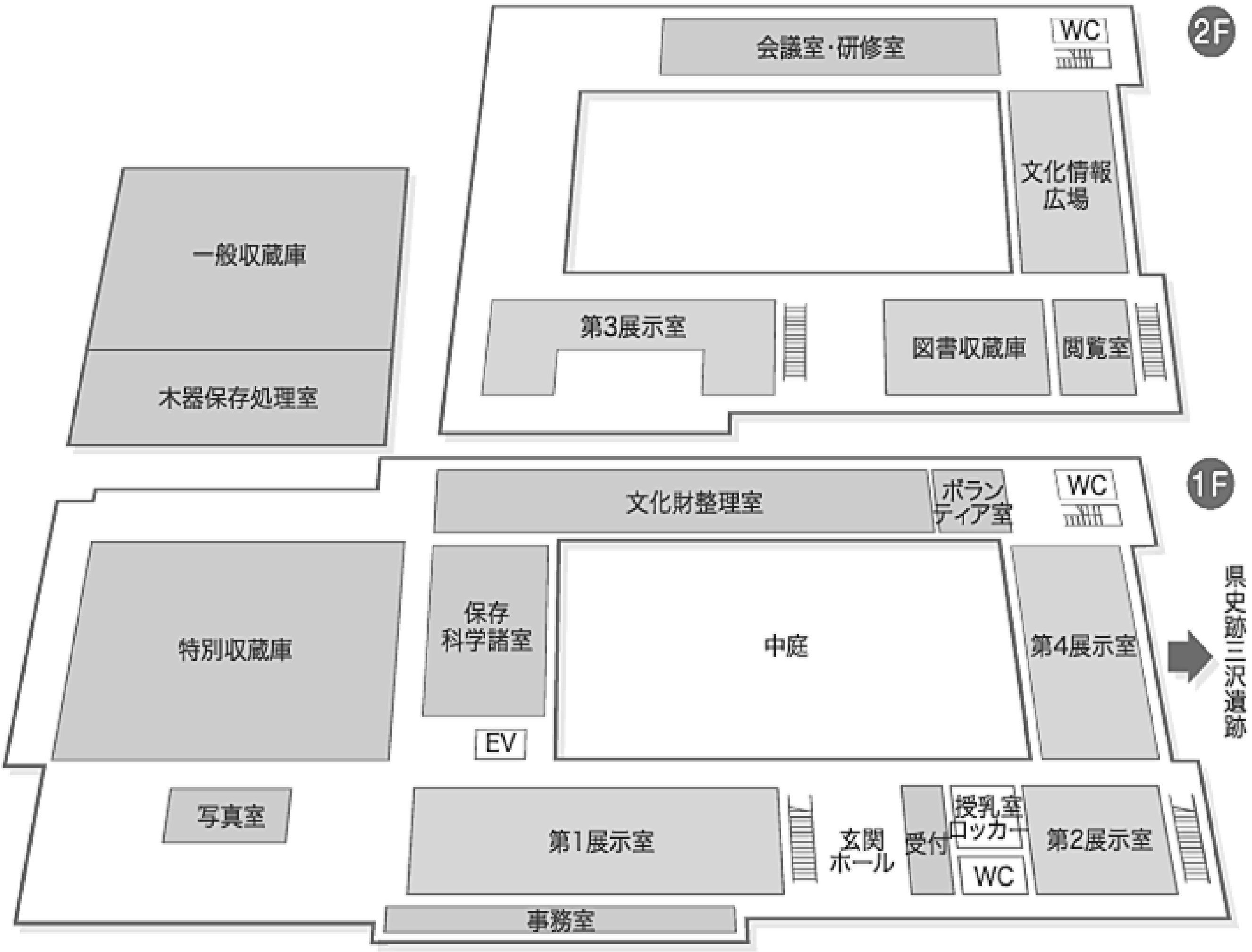
（７）持ち物

館内で必要なものは次の２つだけです。その他のものはバスにおいて下車していただくと、その後の流れがスムーズになります。（館内でお弁当を食べられる際は，そのままお持ちください。）

・クリップボード等（下敷きも可）　・えんぴつ（1～2 本）　（・学校で準備された「しおり」）

館内地図

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM



Passion

博物館の「専門家」 だから伝えられる情熱

九州歴史資料館「出前授業」

- 九州歴史資料館では福岡県内の小・中学校および高等学校を対象にした「出前授業」を実施しています。
- 社会科や地理歴史の授業はもちろん、修学旅行やフィールドワークの事前学習、総合的な学習の時間などにおいても、積極的にご活用ください。豊富な知識はもちろん、専門家だからこそ伝えられる研究の熱量もご提供できます。テーマによってはオンライン遠隔授業での対応も可能です。
- 費用は無料です。学校側のご要望に応じて内容の変更もできますので、まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ
フォームです。

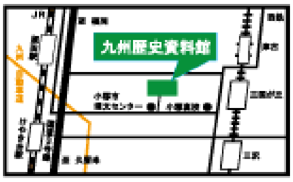
「たからもの」を見る。その経験が「たからもの」になる。

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM
〒838-0106
福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL：0942-75-9575
FAX：0942-75-7834

アクセス

（西鉄電車） 天神大牟田線
三国が丘駅より約 700m

（ＪＲ） 鹿児島本線原田駅より
タクシーで約１０分



小学校４年生　出前授業略案（例）

１　日　時　　月　日（　）　○校時　○○：○○　～　○○：○○　（社会科の時間）
２　場　所　○○立○○小学校　４年○組教室
３　人　数　児童　○○名　　担任　○○先生
４　内　容　４年生　社会科　６「わたしたちの県のまちづくり」（教育出版）
　　　　　２　昔のよさを未来に伝えるまちづくり　に係る出前授業**「文化財をあずかり守り伝える仕事」**
５　主　眼　　太宰府で発掘されたもの、受け継がれてきたものを大切にし、伝えている人の話を聞くことを通して、太宰府の歴史への関心やまちづくりについて追求する意欲を高めることができるようにする。
６　準　備　（学校側にお願いしたいものです。よろしくお願いします。）
・プロジェクター・スクリーン（テレビモニター・電子黒板でも可です）
・接続用 HDMI ケーブル　※パソコンはこちらから持参します。パワーポイントを使用します。
※必要があればこちらでワークシートを作成することも可能です。

７　展　開

学習活動と内容	手立て	形態	配時
１　九州歴史資料館と本時の学習内容について知る。 ・福岡県立の博物館 ・文化財と太宰府 ・本時の見通し	○　九州歴史資料館や学芸員の取り組みについて理解させ、今回の授業の価値認識を高めさせる。	一斉	5
めあて　**九州歴史資料館の人々は太宰府の文化財をどのようにあずかり、守り、伝えているかを知り、その大切さに気付こう。**			
２　学芸員の話を聞く。 ・博物館としての機能 ・埋蔵文化財センターとしての機能 ・伝える活動	○　実際に働いている九州歴史資料館の職員（学芸員）の話を直接聞かせることを通して、抽象的な概念である昔のよさや伝える活動について、より明確なイメージをもたせる。 ○　講話とともに、写真資料を見せることを通して、博物館の業務について深く理解させるとともに、歴史に対する興味・関心を高めさせる。	一斉	15
３　学芸員に質問をする。	○　児童がもった素朴な疑問を質問させ、直接回答をする活動を通して、学習の個性化を図る。 ※場合によっては班で疑問に思ったことを共有する時間を設定する。	個別	20
４　本時の振り返りを行う。	○　本時の学習内容を振り返ることを通して、めあての達成について（文化財をあずかり、守り、伝える大切さに気付き、考えることができたか）の自己評価を行わせる。	一斉	5

九州歴史資料館　出前授業　学習プログラムの例

九州歴史資料館では福岡県内の小・中学校および高等学校を対象にした「出前授業」を実施しています。社会科の授業はもちろん、修学旅行やフィールドワークの事前学習、総合的な学習の時間などにおいても、積極的にご活用ください。テーマによってはオンラインでの対応も可能です。また学校側のご要望に応じて内容の変更もできます。まずはお気軽にご相談ください。

該当学年	全学年
プログラム名	進路学習・職業講話　「博物館・文化財に携わる仕事」
教科・単元	総合的な学習の時間等　（キャリア教育・進路学習）
主眼	文化財の保護や調査・研究に携わる職員の講話や質疑応答の時間を通して、職業の社会的な役割や意義を理解し、自己の生き方を考えることができるようにさせる。
内容（例）	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（５分） ２　職員の話（３０分） ３　質問タイム（１０分） ４　ふりかえり（５分）
備考	学芸員、発掘技師の講話が可能です。また学校の進路学習の形態に合わせて派遣ができますのでご相談ください。
ポイント	**講話を通して主眼の達成に加えて、歴史や文化財に対する興味･関心の高まりも期待できます。**

該当学年	小学校３年生～６年生
プログラム名	太宰府の歴史を守り、伝える仕事　※オンライン遠隔授業でも実施可能です
教科・単元	小学校４年生　社会科　わたしの県のまちづくり　（教育出版）
問い	どんな人達がどのように太宰府の歴史を守って伝えているのだろう。
単元計画の例	１　焼物を生かしたまちづくり　→　２　昔のよさを未来に伝えるまちづくり →　本時　→　調べ学習等
主眼	太宰府で発掘されたもの、伝えられてきたものを大切にし、伝えている人の話を聞くことを通して、太宰府の歴史への関心やまちづくりについて追求する意欲を高めることができるようにさせる。
内容（例）	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（１０分） ２　職員の話（１０分） ３　質問タイム（２０分） ４　ふりかえり（５分）
ポイント	**質疑応答の時間を多く設定することで学習の個性化を図り、学習の自己調整を期待することができます。**

該当学年	小学校４年生～中学校１年生
プログラム名	触ってみよう！縄文時代と弥生時代の道具
教科・単元	小学校６年生　社会科　日本の歴史　１　国づくりの歩み（教育出版）
問い	縄文時代と弥生時代の違いっていったい何だろう。
単元計画の例	大昔の暮らしをさぐろう　→　本時 →　学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう
主眼	本物の土器や米作りの道具、青銅器（一部レプリカを含む）を触る体験や解説を通して、縄文時代の暮らしの様子を捉え、縄文時代の遺物と弥生時代の遺物を比較して、暮らしの変化を考え、表現することができるようにさせる。
内容（例）	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（５分） ２　学芸員の話とハンズオン体験（２５分） ３　質問タイム（５分） ４　ふりかえり（１０分）
ポイント	**教科書の図に加えて実物資料を見たり触ったりする体験を通して、より鮮明に当時の生活の様子をイメージすることができます。**

該当学年	小学校６年生・中学校１年生
プログラム名	天皇を中心とした国づくり「福岡編」
教科・単元	中学校１年生　社会科　歴史分野 第１章　３節　中国にならった国家づくり（帝国書院）
問い	日本が改革を進めていくなかで、私たちが生活するこの地では どのようなことが行われていたのだろうか。
単元計画の例	２　律令国家を目指して　→　本時　→　３　律令国家での暮らし
主眼	太宰府を中心とした律令国家体制での国づくりを理解することを通して、古代の歴史をより身近に感じ、主体的に学習に取り組むことができるようにさせる。
内容（例）	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（５分） ２　職員の話（３０分） ３　質問タイム（５分） ４　ふりかえり（１０分）
ポイント	**当時の大宰府の様子を理解することで、より身近に律令国家の形成をイメージできることが期待できます。**

該当学年	小学校６年生～中学校３年生
プログラム名	仏像の見かた
教科・単元	総合的な学習の時間「修学旅行へ向けて」
問い	どのようなところに注意して仏像を見たらいいのだろう。
単元計画の例	本時　→　班別自主研修の計画等
主眼	仏像の種類とその違いやとらえ方を知ることを通して、関心や意欲を高め、主体的に仏像や文化財と向き合うことができるようにさせる。
内容（例）	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（５分） ２　職員の話（３５分） ３　質問タイム（５分） ４　ふりかえり（５分）
ポイント	**毎年ご依頼をいただく学習プログラムです。見る視点を得ることで実物を見学するという活動の価値を高めることができます。特に京都・奈良方面への修学旅行を計画される場合は活用をご検討ください。**

該当学年	中学１年生～高校１年生
プログラム名	ＶＲがつくる考古学の未来 ※ＶＲ出前授業と連動したプログラムです。 「STEAM 教育」の一環としてもご活用いただけます。
単元	高校１年生　歴史総合　第４章４節「現代的な諸課題の形成と展望」（東京書籍）
問い	ＶＲ技術という最新技術は考古学にどのような影響を与えるのだろうか
単元計画の例	ＶＲ出前授業→　本時　→　歴史探求の方法
主眼	ＶＲの古墳探索体験や発掘体験、学芸員の講話を通して、ＶＲという最先端技術は考古学という学問にどのような可能性をもたらすのか自分の言葉で記述できるようにさせる。
内容（例）	前時にＶＲ体験（５０分） １　ＶＲ出前授業の振り返り（１０分） ２　学芸員の話「最先端技術を活用した考古学の未来」（１５分） ４　質問タイム（１５分） ５　本時のふりかえり（１０分）
ポイント	**実際にVRを体験した後に、VRコンテンツを制作に携わった職員が講話を行い、これからの考古学についての展望をお話します。文化財に対する関心・意欲の高まりに加え、キャリア教育としての価値付けや STEAM 教育の一環として生徒自身が「問い」をもったり、探求心による学びの主体性の向上等を期待することができます。**

九州歴史資料館　学校向け「出前授業」

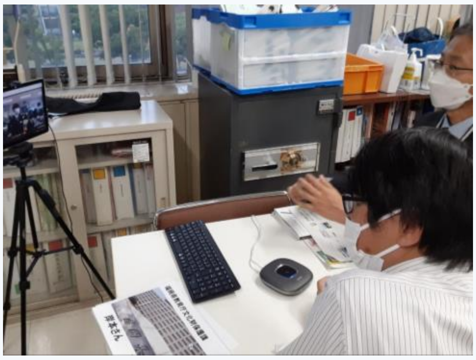
九州歴史資料館では福岡県内の小・中学校および高等学校を対象にした「出前授業」を実施しています。出前授業のテーマおよび内容は次のとおりです。社会科の授業はもちろん、総合的な学習の時間などにおいても積極的にご活用ください。

番号	テーマ	内容	対象		
			小	中	高
１	学芸員の仕事	「どんな仕事なの？」「学芸員になるためには？」疑問に答えながら、文化財を守る・伝える仕事についてお話します。学芸員の専門分野（古代史、美術工芸、考古学、近代史、保存科学）によって、内容が異なります。	○	○	○
２	文化財発掘技師の仕事	「どんな仕事をしているの？」「なんのために発掘しているの？」そんな疑問にお答えします。	○	○	○
３	考古学の手法	出土資料の年代がどうやってわかるのかについて、様々な方法を紹介します。奈良時代や江戸時代の瓦の拓本体験も可能です。	○	○	○
４	縄文時代から弥生時代へ －暮らしの移り変わり－	縄文時代から弥生時代にかけての人々の生活の移り変わりについて紹介します。	○	○	○
５	土器（縄文土器・弥生土器 土師器・須恵器・陶磁器）	縄文時代から中世に使われた焼き物の移り変わりについて紹介します。		○	○
６	古代の大宰府	古代（飛鳥・奈良・平安時代）の大宰府にかかわる歴史、ゆかりの人物などについて、お話しします。大宰府の成立、斉明天皇と朝倉宮、水城と大野城の造営、律令制、地方支配の仕組みなど。	○	○	○
７	木簡と墨書土器	大宰府を中心とする木簡、墨書土器など出土文字資料の世界と、その研究からみえる古代社会について、お話しします。	○	○	○
８	筑紫君磐井の乱	古代の日本列島統一過程での最大の内乱とも言われる筑紫君磐井の乱の背景と結果をお話します。			○
９	記紀神話	記紀神話のあらすじを解説し、『古事記』『日本書紀』の成り立ちについてお話します。	○	○	○
１０	大宰府と万葉集	万葉集にみえる福岡ゆかりの和歌や大伴旅人・家持父子の話を紹介します。	○	○	○
１１	大宰府と菅原道真 （天神さま）	菅原道真の生涯、太宰府天満宮と菅原道真の関係、福岡に伝わる天神伝承について紹介します。	○	○	○
１２	仏像の見方	奈良や京都に行かなくても意外と身近な所に各地域の個性的な歴史の証人である古仏が存在しています。そんな古仏を紹介し、その見方をお話しします。修学旅行事前学習におススメです。	○	○	○
１３	大陸から渡来した造形遺品	大陸との交流の最大の窓口であった九州には、他の地方には見られないような、大陸から渡来した仏像や石塔が多く存在しています。それらを通して、九州の歴史や文化の特質についてお話しします。	○	○	○
１４	大宰府式鬼瓦	古代九州を統轄した役所である「大宰府」で使用された大宰府式鬼瓦は「大宰府」のシンボルであり、日本の鬼瓦の最高傑作です。大宰府式鬼瓦を通して、「大宰府」や古代九州のあり方についてお話します。	○	○	○
１５	福岡県の近代	福岡県の近代（特に都市発展、鉄道建設、製鉄と炭鉱の盛衰）について、資料から紹介します。		○	○
１６	古墳探検（VR） 発掘疑似体験（VR）	VRで普段立ち入ることのできない古墳内部の探検や発掘の疑似体験をすることができます。歴史への関心を高めることができます。なお、VR体験される際、小学生は保護者の同意が必要です。	○	○	○

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

「個別最適な学び」につながる

博物館との遠隔授業



Museum DX

Kyushu historical museum　Digital Transformation

　「標準の学習プログラムの「オンライン社会科見学」に加えて先生方のご要望に沿って授業をご提供できます。授業内の１５分程度のスポットでの活用（ピンポイント解説や質疑応答等）も可能です。

　教室にいながら児童・生徒の皆さんを博物館に連れて行きませんか。歴史の専門家に双方向で質問を行う活動を通して学習の自己調整を期待することができます。
費用は無料です。お気軽にお問い合わせください。

申し込み＆お問い合わせフォームです。

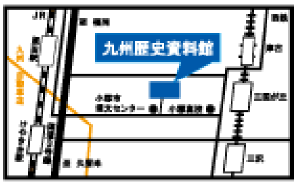
「たからもの」を見る。その経験が「たからもの」になる。

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM
〒838-0106
福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL：0942-75-9575
FAX：0942-75-7834

アクセス

（西鉄電車）　天神大牟田線
三国が丘駅より約 700m

（ＪＲ）　鹿児島本線原田駅より
タクシーで約１０分



遠隔授業「オンライン社会科見学」（実施例）

〇〇立〇〇〇学校　〇年生（社会科　歴史分野・総合的な学習の時間等）

1　日　時　　　月　　日（　）　校時　　時　　分～　時　　分
2　内　容　　　オンライン社会科見学　～博物館バーチャル歴史体感ツアー～
3　主　眼　　　遠隔での見学や解説を通して、博物館や文化財の魅力や価値、保存・継承の意義を見出し、自分の言葉で表現することができるようにさせる。
4　接　続　　　ZOOM もしくは Google ミート
5　準　備　　　・接続用の端末及び大型スクリーンもしくはテレビ
　　　　　　　・WEB 端末（１人１台ご準備ください。本館のホームページやアンケートフォームにアクセスします。）
6　接続テスト　　月　　日（　）　※事前に接続テストをお願いしております。
7　展　開

学習活動と内容	手立て	形態	配時
1　九州歴史資料館について知る。 ・九州歴史資料館の概要と特徴 ・本日の学習内容	○　館外から中継を開始し、館内に入る様子をライブ中継することで、来館する臨場感を高める。 ○　スライドを使って九州歴史資料館の概要と本時の学習の流れを説明し、見通しを持たせる。 ○　文化財を保護するための必要な経費等の金額を提示して学習課題に切実性をもたせる。	一斉	10
学習課題　オンライン社会科見学を通して、博物館の魅力や文化財を守る意義や価値を自分の言葉で表現する。			
2　オンラインで展示室の文化財を見学し、展示解説を聞く。 ・土器、鬼瓦、仏像、文書など	○　ジンバルカメラを使用することでスムーズな映像を流し疑似鑑賞の臨場感を高める。 ○　チャット機能やアンケートフォームを活用し、個別の問いと学びに即時性を持たせることで、学習の個性化を図る。	一斉	15
3　オンラインで館内見学や展示見学を行う。 ・３６０度 WEB 観覧	○　端末から九州歴史資料館のホームページにアクセスさせ、「３６０度 WEB 観覧」のコンテンツで自由に疑似見学を行う。　https://kyureki.jp/360_museum/	個別	10
4　授業者に質問をする。	○　双方向での質疑応答を行うことで、遠隔での授業の価値を高めるとともに学習の自己調整を図る。	一斉	5
5　本時の振り返りを行う。	○　アンケートフォームにアクセスして、九州歴史資料館での授業の自己評価や学習課題、感想の記入を行い、本時の授業の振り返りをさせる。	個別	10

8　評価基準

学びに向かう力 人間性等	・博物館の魅力や文化財の価値を見つけ書き出すことができている。 ・感じたことや考えたことをもとに、文化財を守る意義を文章でまとめることができており、博物館や文化財に対する興味・関心を示す表現が見られる。

九州歴史資料館　小学校４年生オンライン遠隔授業（案）

１　内　容　　　４年生社会科　単元「わたしたちの県のまちづくり」
（２）昔のよさを未来に伝えるまちづくり（太宰府市）

２　主　眼　　　オンラインでの資料解説や館内見学を通して、太宰府市にある代表的な史跡や文化財に着目し、当時の太宰府市が歴史的にどのような特色をもった場所であるのかを捉えることができる。

３　準　備　　　資料「古代日本の西の都　～東アジアとの交流拠点～」
接続用端末１台　（テレビやプロジェクターと接続して共有してください）

４　展　開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点	配時
導入	１　既習や九州歴史資料館の役割を基に、本時のめあてをつかむ。 ・大宰府史跡の調査研究に 50 年以上行ってきた。 ・太宰府市には文化財が数多く残されている。 ［昔の太宰府市は、どのような所だったのだろう。］	○　本時のめあてをつかませるために、九州歴史資料館が大宰府の調査研究を行ってきたことや大宰府の文化財に関する資料を提示する。	5
展開	２　職員の解説をもとに、太宰府市にある代表的な史跡や文化財に着目して、昔の様子を捉える。 （１）資料から ・当時の九州は「西海道」と呼ばれていた。 ・大宰府政庁は西海道を治める国の重要な役所。 ・外国と交流するための重要な仕事が行われていた。 ・大宰府の役人に菅原道真が任命された。 ・太宰府天満宮は人々が道真を神としてまつり建てられた。	○　太宰府市の昔の様子をイメージしたり、太宰府天満宮が建てられた経緯を知ったりすることができるようにするために、資料を使って解説する。	10
	（２）館内の展示物を紹介 ・大宰府政庁跡から見つかった鬼瓦、軒丸、木簡	○　オンラインでも形や大きさ、模様等を実感させるために、展示物に焦点を当て解説する。	10
	３　職員へ質問しながら、太宰府市がもつ歴史的な特色について考えまとめる。 ［昔の太宰府市は、大宰府政庁という国の重要な役所があり、外国との交流がさかんな場所だった。また、太宰府天満宮は菅原道真と深いかかわりがあった。］	○　太宰府の歴史について深く理解させるために、児童の質問に直接回答をする。	15
終末	４　本時の振り返りを行う。	○　本時の学習を価値づけるために、振り返りを全体で交流する。	5

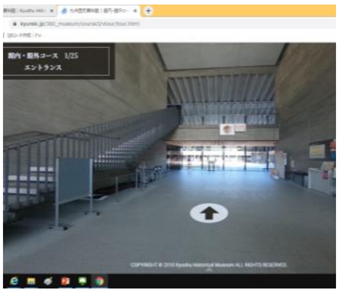
交通費0円　入館料0円　移動時間0分

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

県立の博物館バーチャル見学できます

九州歴史資料館　360°バーチャル体験は
ホームページからいつでも簡単に
アクセスできます。

上記の２次元コードもしくは
ホームページにある
バナーからアクセスできます



ご要望があれば
オンラインでの
ライブ解説や
質疑応答も可能です。
オンライン社会科
見学というプログラム
もご準備しています

お問い合わせやお申込みは簡単にアクセスができるWEBフォームを
ご利用ください。お手持ちのスマートフォンからも
アクセスできますので、まずはお気軽にご相談ください。
（ホームページからもアクセスできます。）

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM
TEL：0942-75-9575
FAX：0942-75-7834

ホームページは
こちらから

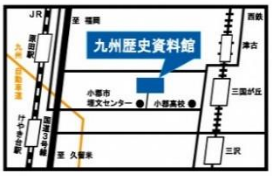
公式 Twitter は
こちらから

〒838-0106　福岡県小郡市三沢 5208-3

アクセス

（西鉄電車）　天神大牟田線
三国が丘駅より約 700m

（ＪＲ）　鹿児島本線原田駅より
タクシーで約１０分



九州歴史資料館　オンライン遠隔授業　学習プログラムの例

博物館は実際に来て見て触れていただくことが一番ですが、学校現場での校外学習の実施は時間や予算の面から難しいという実情を踏まえ、当館ではオンライン授業を実施しています。その他の学習先生方のご要望に沿って授業をご提供できます。授業内の１５分程度のスポットでの活用も可能です。

該当学年	全学年
プログラム名	オンライン社会科見学　－博物館バーチャル歴史体感ツアー－
単元	歴史分野の学習の導入、総合的な学習・探求の時間、キャリア教育、来館事前学習等
問いの例	なぜ歴史を学び、文化財を守り、伝えていく必要があるのだろうか
単元計画の例	本時　→　歴史の学び方をナビゲーション（小学校） 歴史のとらえ方と調べ方（中学校）、歴史の扉（高等学校）
主眼	オンラインでの展示解説を聞き、お気に入りの文化財を見つける活動を通して、 感じたことを言語化することができるようにさせる。
内容	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（１０分） ２　第１展示室の文化財の紹介（１５分） ３　館内３６０度 WEB 観覧（１０分）※１人１台端末でコンテンツにアクセスする ４　質問タイム（５分） ５　振り返り（１０分）
ポイント	**オンライン遠隔授業の標準プログラムです。おかげさまで好評をいただいております。各自で端末を操作してのバーチャル観覧や双方向の質疑応答等で学習の個性化を図ることができます。こちらは略案を準備していますので参考にされてください。また「学びに向かう力・人間性等」の評価基準の例も作成しております。**

該当学年	全学年
プログラム名	専門家に聞いてみた　－博物館とつながる遠隔授業－
単元	歴史分野の調べ学習　総合的な学習・探求の時間
単元計画の例	主題の設定　→　資料・情報の収集　→　本時　→　考察と収集
主眼	調べ学習の中で疑問に思ったことや分からないことを専門家に質問をすることを 通して、学習の個性化を図り、主体的に学習に取り組む態度を養わせる。
内容	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（５分） ２　レポート作成と平行しての質問タイム（４０分） ３　振り返り　（５分） ※詳細はご要望に応じます。
ポイント	**常時オンラインで接続した状態でつながることで、まるで教室に専門家がいるかのような状態で気軽に質問をすることができます。学習の自己調整や深化を期待することができます。**

該当学年	小学校４年生～中学校２年生
プログラム名	すごいぞ！福岡や地域の古墳
教科・単元	小学校６年生　社会科　１国づくりのあゆみ（教育出版） 中学校１年生　社会科　第１章　第２節　古墳から分かる当時の様子　（帝国書院）
問いの例	私たちが住んでいる近くにはいったいどんな古墳があるのだろう
単元計画の例	小学校６年生　巨大古墳と大王　→　古墳をつくった人々　→　本時 →　調べ学習（地域の古墳等） 中学校１年生　３　鉄から見える大和王権　→　本時 →　章のまとめやレポート作成（県内の古墳等）
主眼	福岡県の古墳の発掘や調査、保護に携わる人々の話を聞いたり、写真や動画等の資料を見たりすることを通して、古墳がつくられた理由や出土品から分かること、大陸からの影響等について追求する意欲を高めることができるようにさせる。
内容（例）	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（１０分） ２　職員の話（２０分）※県内や地域の古墳について紹介や解説 ３　質問タイム（１０分） ４　ふりかえり（５分）
ポイント	**福岡の古墳について知ることを通して、より身近に古墳を感じることができます。 ご希望があれば他の博物館や現地からの中継もご相談に応じます。**

該当学年	小学校５年生～中学校２年生
プログラム名	福岡の古代の「城」の謎
教科・単元	中学校１年生　社会科　歴史分野 第１章　第３節　中国にならった国家づくり（帝国書院）
問いの例	なぜ都から離れた大宰府に大規模な水城や大野城がつくられたのだろう なぜ大宰府を守る必要があったのだろう
単元計画の例	本時　→　２　律令国家を目指して　→　３　律令国家での暮らし
主眼	県内にある水城や大野城が築かれた理由を理解することを通して、当時の国際情勢やそれにともなう国内の政治改革について主体的に学習に取り組む態度を養わせる。
内容（例）	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（１０分） ２　職員の話（３０分） ３　質問タイム（５分） ４　ふりかえり（５分）
ポイント	**福岡県内にある特別史跡である水城と大野城が築かれた経緯を知ることで、当時の唐の成立による東アジア諸国の緊張の高まりやそれに伴う大化の改新などを学習する意欲が高まることが期待できます。また大宰府跡から発掘された重要文化財である木簡の解説を通して当時の大宰府の役割とその価値についてもお話をします。**

該当学年	中学校１年生～高校１年生
プログラム名	絵画資料から近代の都市のようすをよみとろう　【福岡編】
教科・単元	高校１年生　歴史総合　第2章　近代化と私たち　（東京書籍　新選歴史総合）
問いの例	100 年前の福岡の様子からどんなことが分かるだろう
単元計画の例	絵画資料から近代の都市のようすをよみとろう　→　本時 →　レポート作成等
主眼	博物館職員の解説や福岡の絵画資料を各自で読み取る活動を通して、近代化の歴史に関わる諸事象について、当時の福岡の様子と関連づけて課題を追究しようとしている。
内容（例）	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（５分） ２　職員の話（１０分） ３　各自で資料を調べ分かったことをまとめる（２０分） ４　質問タイム（５分） ５　ふりかえり（１０分）
ポイント	**１ 人1台端末を活用して福岡市の鳥瞰図や太宰府天満宮の絵図をよみとる活動を通して学習の個性化を図ります。また昭和初期に描かれた吉田初三郎の福岡市の鳥瞰図からは、路面電車以外にも、都市を結ぶ鉄道や石炭を運ぶ鉄道など、様々な鉄道が走っており、当時の県内の産業についても読み取ることができます。**

該当学年	中学校１年生～高校３年生
プログラム名	文化財を「科学」で保存する仕事
教科・単元	高校１年生　歴史総合　第４章４節「現代的な諸課題の形成と展望」（東京書籍）
問いの例	現在は文化財を保護するためにどのような取り組みがされているのだろう
単元計画の例	主題の設定　→　資料・情報の収集　→　本時　→　考察と収集
主眼	文化財保護に携わる職員の解説や機器の実演の見学を通して、「歴史総合」で学んだ内容と関連づけて、文化財を保護する意義を自分の言葉で記述できるようにさせる。
内容（例）	１　九州歴史資料館の紹介と本時の授業についての見通し・めあて（１０分） ２　職員の話（１０分） ３　文化財を調査するＸ線 CT スキャンの実演（１０分） ４　質問タイム（１０分） ５　ふりかえり（１０分）
ポイント	**九州に２台しかない文化財専用のＸ線 CT スキャンを教室の中から学芸員の解説をともに見学することができます。またキャリア教育としての価値や文化財保護の意義について理解を深めることも期待できます。**

九州歴史資料館「VR出前授業」

九州歴史資料館が制作したVR（バーチャルリアリティー）コンテンツを活用した出前授業です。通常は入ることができない古墳や仏像の内部に入り、その構造を間近で観察することができます。そのリアルな体験は、教科学習の範囲を超えて、**児童・生徒自身が「問い」をもったり、探求心による学びの主体性の向上等を期待することができます。**
費用は無料です。少人数からでもお申し込みできますので、まずは気軽にお問い合わせください。

●VRの対象年齢は１３歳以上となっており、
対象年齢未満の利用の際は保護者の承諾が必要です。

●１人１台ゴーグルを着用して体験するため、多少時間がかかります。目安は授業1コマで約３５名の体験が可能です。また少し広い特別教室等の体験スペースが必要になります。

お問い合わせ
フォームです。

VRコンテンツ一覧

① 船原古墳１号土坑（古賀市）　②船原古墳石室（古賀市）
③ 呰見大塚古墳（みやこ町）　④奪衣婆坐像（鎌倉時代）

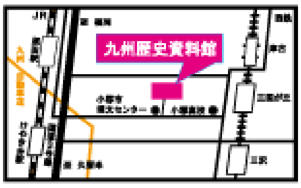
「たからもの」を見る。その経験が「たからもの」になる。

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM
〒838-0106
福岡県小郡市三沢 5208-3
TEL：0942-75-9575
FAX：0942-75-7834

アクセス

（西鉄電車）　天神大牟田線
三国が丘駅より約 700m

（ＪＲ）　鹿児島本線原田駅より
タクシーで約１０分



ＶＲを活用した出前授業例（略案）

1．日　時　　令和○年○月○日（○）　○校時　※５０分で設定

2．場　所　　多目的ホール等（VR 体験スペースが必要です）

3．人　数　　○年○組　３６名

4．内　容　　VR による発掘体験、土器パズルによる復元体験、九州歴史資料館のバーチャル観覧

5．主　眼　　体験活動を通して、文化財の魅力や価値や保存・継承の意義を見出し、自分の言葉で表現ができるようにする。

6．準　備　（学校側）※お手数をおかけしますがよろしくお願いいたします。

- 体験映像を流すためのスクリーンとプロジェクターもしくは移動式のテレビ
- １人１台端末　（九州歴史資料館のホームページにアクセスしてもらいます）
- VR 体験用スペース　（VR が同時に６人できる平らなスペース　10m×５m程度）
- ホームページコンテンツ閲覧用のスペース及びイス１２脚程
- 長机６台（土器パズルを置くため）※学習机をつなげていただいても大丈夫です。
- 延長コード１つ（VR 充電用　こちらも持参しますが、ご準備いただけると助かります）

7．展　開

<table>
<tr><th>学習活動と内容</th><th>指導上の留意点</th><th>形態</th><th>配時</th></tr>
<tr><td>1　本時の学習課題を確認する。
・九州歴史資料館の役割
・本時学習の学習課題</td><td>○　九州歴史資料館の博物館としての役割や、船原古墳の概要、VR コンテンツが作成された経緯の説明を通して、学習課題に対しての主体性を高めさせる。</td><td rowspan="2">一斉</td><td rowspan="2">9</td></tr>
<tr><td colspan="2">学習課題　体験を通して文化財の魅力や価値を見つけ、自分の言葉で表現する。</td></tr>
<tr><td>2　各グループで体験活動を行う。
①　船原古墳１号土坑
（VR 発掘体験）
②　土器パズル（復元作業体験）
③　３６０度バーチャル観覧
（九州歴史資料館館内疑似見学）</td><td>○　３グループに分けて体験活動をさせる。
○　VR ゴーグルとコントローラーを使用して発掘作業を疑似体験させる。
○　土器の復元体験を疑似体験させる。
○　九州歴史資料館のホームページにアクセスし館内を自由に疑似見学させ、文化財への興味関心を高めさせる。</td><td rowspan="2">グループ</td><td rowspan="2">36</td></tr>
<tr><td colspan="2"><table>
<tr><th></th><th>Ａグループ約１２名</th><th>Ｂグループ約１２名</th><th>Ｃグループ約１２名</th></tr>
<tr><td>１２分</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td></tr>
<tr><td>１２分</td><td>③</td><td>①</td><td>②</td></tr>
<tr><td>１２分</td><td>②</td><td>③</td><td>①</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>3　本時の振り返りを行う。</td><td>○　本時の学習内容を振り返ることを通して、学習課題の達成について自己評価を行わせる。</td><td>一斉</td><td>5</td></tr>
</table>

九州歴史資料館　360 度バーチャル観覧

https://kyureki.jp/360_museum/

「魅力」が多い「便利」が多い

古代日本の「西の都」解説本

1人1台端末での学習に最適な分かりやすい教材
古代の世界に引き込む魅力あふれる３０の構成文化財
豊富な資料は発表だけでなく先生方の教材研究にも便利

日本遺産「古代日本の西の都」のキッズページもご活用ください。
分野ごとの検索も可能。映像資料も豊富です。
https://www.nishinomiyako.com/kids/

オンラインで専門家に質問ができる遠隔授業を行うこともできます。（要事前申し込み）

電子版

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

お問い合わせ
文化財企画推進室　教育普及班
TEL　0942-75-9501
※お問い合わせフォームはこちら→

解説本　古代日本の「西の都」を使った授業（案）※小学校４年生

１　内　容　　４年生社会科　単元「わたしたちの県のまちづくり」
（２）昔のよさを未来に伝えるまちづくり（太宰府市）

２　主　眼　　太宰府市にある代表的な史跡や文化財に着目して調べ、当時の太宰府市が歴史的にどのような特色をもった場所であるのかを捉えることができるようにさせる。

３　準　備　　・児童用１人１台端末
・古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～　解説本電子版

４　展　開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点
導入	１　既習をもとに、本時のめあてをつかむ。 ・太宰府市には史跡がいくつもある。 ・文化財も数多く残されている。 ［昔の太宰府市は、どのような所だったのだろう。］ ２　本時の学習課題について予想し、話し合う。	○　本時のめあてをつかませるために、大宰府の史跡や文化財に関する資料を提示する。
展開	３　資料をもとに、太宰府市にある代表的な史跡や文化財を調べる。 ・当時の九州は「西海道」と呼ばれていた。 ・大宰府政庁は西海道を治める国の重要な役所。 ・外国と交流するための重要な仕事が行われていた。 ・木簡は九州各地から納められてきた特産品に付けらていた。 ・大宰府の役人に菅原道真が任命された。 ・太宰府天満宮は、人々が道真を神としてまつりたてられ、「学問の神様」として今も大切にされている。 ４　昔の太宰府市がどのような場所であったか自分の考えをまとめ話し合う。 ［昔の太宰府市は、大宰府政庁という国の重要な役所があり、外国との交流がさかんな場所だった。また、太宰府天満宮は菅原道真と深いかかわりがあった。］	○　昔の太宰府市の様子を捉えさせるために、代表的な史跡や文化財について、資料古代日本の「西の都」を使って調べる活動を設定する。 ○　自分の考えをつくらせるために、「大宰府政庁」「外国」「太宰府天満宮」のキーワード使ってまとめる活動を設定する。
終末	５　本時の振り返りを行う。 ・史跡や文化財を調べていくうちに昔の太宰府市が、九州など広い地域をおさめる重要なはたらきをもっていたことが分かった。昔のものが今も多く残されているわけを調べたいな。	○　本時学習を振り返り、次時の学習への意欲を高める。

【九州歴史資料館博学連携事業の活用にあたって】

・担当職員の業務の都合等で実施できない場合もありますので、予めご了承願います。
・依頼の内容によっては、各市町村の文化財担当職員をご紹介する場合もあります。
・学習プログラムに無いテーマについても可能な限り学校側のご要望にお応えします。
・オンライン遠隔授業に関しては事前に接続テストを実施致します。
　また学校側に ZOOM や Google ミートの会議の作成をお願いする場合があります。
・九州歴史資料館ホームページでもご紹介しています。（https://kyureki.jp）

ホームページ

【活用の方法について】

1　申込方法

①「教育普及班」までお電話か申し込みフォームにてご連絡ください。

②児童・生徒については観覧料無料です。先生方に関しては、当館のＨＰより「観覧料免除申請書」をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、当日お持ちいただくことで、全額免除になります。（同行される代理店等の業者様は減免の対象にはなりません）※校印は不要です。またメールでの送信でも構いません。

③オンライン遠隔授業・出前授業をご活用の場合は事前に「オンライン授業・出前授業」申込書をご提出ください。※職印は不要です。郵送か FAX、メールでお送りください。

③実施に向けて、詳細を打ち合わせます。

④実施後のアンケートへのご協力をお願いする場合がございます。

2　経　　費

無料です。講師派遣の費用（謝礼、交通費等）は必要ありません。

3　問い合わせ先

九州歴史資料館 文化財企画推進室 教育普及班
TEL　0942‐75‐9501（直通）／FAX　0942‐75‐7834
「お問い合わせフォーム」からもご相談が可能です。
※当館ホームページからもフォームにアクセスできます。

お申込み
お問い合わせ
フォーム